



世帯数 6,006戸
人口 14,054人
(令和2.5.1現在)

寿公民館新型コロナウイルス対策

現在、全国で新型コロナウイルスの感染が広がっています。寿地区では、例年行われていたの事業が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。楽しみにしていたらいた皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

中止とした事業

●寿地区駅伝大会・球技大会
住民の親睦を深めるため、12町会対抗のスポーツ大会を実施

●体育委員会主催

「春のウォーキング講座」
体育委員長を講師に、健康増進と親睦を深めながらウォーキングを実施

●当面の間中止とした事業

●子育て支援192サロン
寿地区を中心に子育て中の親子を対象としたイベントや講座を実施

●ご近所大学

健康増進や認知症予防について、実際に身体を動かしながら講師から教わります。

●新型コロナウイルス対策

次のとおり、感染拡大防

●公民館来館者の記録
公民館内で新型コロナウイルス感染者が万が一発生した際、濃厚接触者の確認のため事務所内にお越しいただいた方の名前を記録しています。

●貸館の再開

4月から市民(団体)、公民館登録サークルへの貸館を当面の間中止していましたが5月22日から貸館を再開しました。

●講座及び会議等の自粛

公民館講座の中止、地区に関わる会議等は中止を検討したり、開催する場合は出席者の限定や開催時間の短縮を図ったりしています。

●館内の消毒作業及び

消毒液の設置
来館した方に手指の消毒をしていただけるよう消毒液を玄関に設置しています。窓口は職員が消毒液を使つて、毎日消毒作業をしています。



●正しい手洗いの周知

公民館内の手洗い場に正しい手の洗い方が掲載されたチラシ(国立感染症研究所作製)を貼り、感染予防を呼び掛けています。

コールセンターの設置

松本市では、新型コロナウイルスに関する市民からの総合相談窓口となる「新型コロナウイルス感染症総合相談窓口コールセンター」を4月24日から開設しました。

—ご相談の際は—

【コールセンター】 ☎0263-34-3283

(土・日・祝日含めて当面の間午前9時～午後5時)

新型コロナウイルスの終息はまだ見通しがたっておりません。今後も一人ひとりの意識と行動が重要となりますので、市民一丸となって乗り越えましょう。

【寿公民館】

令和2年度寿公民館関係役員・職員紹介

公民館運営委員

委員長 百瀬 泰雄

(町会連合会長・百瀬町会長)

副委員長 手塚 文雄

(町内公民館長・赤木公民館長)

会計

鈴木 喜朗
(町会連合会計・下瀬黒町会長)

委員

古屋 賢司(赤木町会長)

百瀬 俊元(小池町会長)

百瀬 記行(白川町会長)

須山 保(白姫町会長)

諏訪 隆夫(上瀬黒町会長)

河西 邦雄(竹淵町会長)

朝比奈忠男(豊町町会長)

林 純一(寿田町町会長)

鈴木 茂雄(竹原町町会長)

飯森 克人(寿田川町町会長)

橋渡 洋一(小池公民館長)

野尻健次郎(百瀬公民館長)

横山廣太郎(白川公民館長)

古畑 準一(白姫公民館長)

大和 訓人(上瀬黒公民館長)

宮澤 茂(下瀬黒公民館長)

原口 正一(竹淵公民館長)

根本 富雄(豊町公民館長)

若林 好生(寿田町公民館長)

縣 房弘(竹原町公民館長)

野田 精一(寿田川公民館長)

塩原 正壽(民生児童協議会会長)

百瀬 千春(主任児童委員)

曾根原紀子(主任児童委員)

清水 壽雄(館報編集委員長)

林 啓(体育委員長)

未定(図書委員長)

林 忠良(視聴覚委員長)

三村 秀高(健康づくり推進員会長)

中山 自子(食生活改善推進協議会会長)

鈴木 吉男(寿体育協合理事長)

北嶋 拓也(寿小PTA会長)

清水 健志(寿小PTA副会長)

濱 千春(寿小PTA副会長)

神谷信一郎(筑摩野中PTA代表)

佐藤奈々子(並柳小PTA支部長)

山内 恵美(開成中PTA支部長)

山下 治夫(寿子ども会育成会会長)

御子柴 宏(寿史談会会長)

古屋 源秀(交通安全協会寿支部長)

上條 計(消防一六分団長)

半藤 謙吾(村井・寿交番署長)

館報編集委員

青木敬次郎(赤木町会)

清水 壽雄(小池町会)

中原 貢(百瀬町会)

松澤 憲一(白川町会)

須山 浩二(白姫町会)

宮川 知也(上瀬黒町会)

遠藤 勝弘(下瀬黒町会)

上平 貴明(竹淵町会)

岡村 次子(豊町町会)

久保田幸康(寿田町町会)

浜 清美(竹原町町会)

桜井 誠二(寿田川町会)

寿公民館

公民館長 百瀬 康雄

公民館長補佐 百瀬 靖恵

寿公民館主事 永春 美香子

生活支援員 古條 愛

囑託 丸山 安代

わがまちの高校生

竹原町会会は100世帯弱の小さな町会です。この町会で育ち、幼い頃からスポーツに打ち込む2人の高校生を紹介します。

共に松本国際高等学校2年生の男子サッカー部所属の清野莉夢さんと女子バレーボール部所属の浜茉莉さんです。2人にお話を伺いました。

Q・始めたきっかけは何ですか。

A・清野さん
小学2年生の時に周りの友達が始めたからです。

A・浜さん
小学2年生の時に学校でミニバレーの募集のチラシをもらい興味をもったからです。

Q・魅力を教えてください。

A・清野さん
「必死さ」です。サッカーは1点がすごく大きな数字です。点を取りに行く時は必死に取りに行き、守りも取られないように



必死に守らなければいけません。そういう必死さが観ている人を熱くしてくれるのだと思います。

A・浜さん
仲間と協力しあいながら一つのボールを繋ぐことです。

Q・日頃どんな練習をしていますか。

A・清野さん
基礎練習をよくしています。

A・浜さん
試合に近い練習や一人ひとりの技術向上のための課題練習をしています。

Q・得意なプレーは何ですか。

A・清野さん
体力がある方なので多くボールに関わり、チャンスを作りボールを仲間へ供給することです。

A・浜さん
得意といえるほどのプレーは未だに無いです。

Q・心に残っているエピソードはありますか。

A・清野さん
去年の7月に骨折をしたことです。

A・浜さん
中学生の時はキャプテンでした。最後の最後まで皆が

私についてきてくれたことです。

Q・憧れの選手はいますか。

A・清野さん
パウロ・デイバラ選手です。彼は15歳の時に父を亡くしプロになると決めプロになった意思の強さに憧れます。



Q・幼い頃や今後の夢や目標を教えてください。

A・清野さん
幼い頃はプロのサッカー選手になることが夢でした。今後の目標は理学療法士になることです。

A・浜さん
今後の目標は練習を重ね自分が得意と言えるプレーを作ることです。そして将来は保育士か介護福祉士になることが夢です。

3月から新型コロナウイルスの影響で部活動が制限されていきましたが、この逆境をバネにそれぞれの夢に向かいこれからも頑張りたいと思っています。

【館報編集委員 浜 清美】

これからよろしくお願いします



寿地区
地域づくりセンター長
百瀬 靖恵

4月15日付の人事異動により、寿地区地域づくりセンター長を務めることになりました百瀬靖恵と申します。

緑豊かな里山に囲まれたこの地で、地域づくりのお手伝いをさせていただけることを嬉しく思っております。少しでも皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、どうかよろしく願います。



寿地区
地域づくりセンター
柳沢 茉歩

4月に市民課から寿地区地域づくりセンターに参りました柳沢茉歩と申します。

微力ではありますが、寿地区について学び、地域づくりに取り組むたいと思います。温かい地域の皆様のお役に立てるよう精進して参りますのでよろしく願います。



寿地区
地域づくりセンター
岩崎 由美子

今年の4月からお世話になっております。岩崎由美子と申します。

主に窓口での証明発行のお手伝いをしています。微力ではありますが、皆様のお役に立てればと思っております。よろしく願います。



寿地区
地域づくりセンター
生活支援員
古條 愛

4月より寿地区生活支援員として地域づくりセンターに配属されることになりました古條愛と申します。

寿地区の皆様が普段の生活で不安なこと、困っていることなど一緒に考え少しでも解決・緩和できるようにお手伝いをさせていただきますと思います。どうぞよろしく願います。

【寿公民館】